

# 医療地災被災地 網渡り

被災地に設置された避難所の中で、医療態勢の格差が生じている。大規模避難所比べ、規模が小さい施設は医療チームの巡回が少ない現実もあり、関係者からは「高齢者の持病の悪化が心配」との声も出ている。

多い時で千人以上の避難者を抱えた岩手県陸前高田市の市立第一中学校。日本赤十字社の医療チームが交代で、24時間待機している。

最近の受診者は1日100人程度で、うち7割が慢性疾患の薬の再処方。インフルエンザやノロウイルスなど感染症の疑いがある避難者は校内の教室に隔離し、拡大を防いでいる。避難者は「ずっとスタッフがいてくれるから安心」と喜ぶ。

岩手県によると、県内の避難所については、県内外の医師や看護師ら5人以上で構成する約50のチームが、区域ごとに巡回診療にあたる。だが全体的に医師が不足しており、被災地の医師は1人数が少な避難所は、どうしても優先度が下がってしまう。ニーズの多さで判断できざるを得ない」と指摘する。

津波で大きな被害が出た宮城県南三陸町。「津の宮生活センター」では、十数人の避難者が暮らす。常駐の医師はおらず巡回も不足がちな。

「アレルギーの薬を持ってきたよ」。  
隣接する石巻市の開業医栗原洋志さん(40)が診察に訪れた。「これがないと生

## 巡回診療 避難所間に格差

避難所で被災者に薬の説明をする日本赤十字社の薬剤師(中央) 14日、岩手県陸前高田市の市立第一中学校



きていけないの」。女性に笑みが広がった。

栗原さんがこの避難所を訪れるのは4度目。休診日の午後、自家用車に薬や診療道具を詰め込み、10人程度が身を寄せた小さな避難所などをボランティアで巡回する。体の張りを訴える母親、血圧が高いお年寄り。行けば必ずニーズはある。

「大きな避難所に行けば医師がいて薬もある。でも小さい避難所に身を寄せると高齢者は、遠慮もあって『連れて行って』と頼みにくい」と栗原さん。持病の悪化が懸念される避難者も多く、恒常的に医師が訪れる必要性を訴える。

東日本大震災から1カ月余り。もともと医師不足などの問題に苦慮してきた東北地方沿岸部は、大津波で多くの医師や医療機関が被災し、地域の医療が崩壊の危機にさらされている。時間の経過とともに増す在宅診療の重要性。避難所や拠点病院で不調を訴える患者は依然として多く、医師らは綱渡りの苦闘を続けている。被災者の生命を守るため今、医療に何が必要か。現状や課題を探った。

# 在宅患者“難民化”の恐れ

大津波は地域医療が崩壊しているが、できれば医師に  
 壊の危機にあった東北地方に追いついてほしい」  
 多くの被災地では今、在宅患者へのケアが課題として浮上している。か  
 宮城県気仙沼市でコ  
 だけを募らせる。

ずれ

被災地では持病のある高齢者が日常的な医療や介護を受けられず、症状を悪化させるケースが続出している。徐々に避難所から自宅に戻る被災者が増えるもの、自治体は「在宅患者の状況を把握することが難しい」と困惑。こうした中、地元医師と在宅医療の専門医が一緒に往診にあたる新たな動きも始まった。

## 山越え

「被災後数日、毎日服用していた高血圧の薬がなくなってしまう。津波で壊滅的な被害が出た右岩手県釜石市。半壊した知人宅で避難生活を送る高村幸男さん(70)の表情が曇った。  
 診療や医薬品の情報が入らず、かかりつけ医の訪問もない日々。「自分から動くしかない」。重い体を引きずって徒歩で山を越え「赤十字」のマークを探して市内をさまよったことも。「緊急時なので避難所まで上が

### 気仙沼 在宅支援プロジェクト



# 実態把握に自治体苦悩



市から現地入りした在宅専門医の永井康徳さん(49)に協力を依頼し「気仙沼在宅支援プロジェクト」を立ち上げた。  
 在宅医療を専門とする医師と看護師、保健師らが動く。同じ姿勢のまま7人でスタート。沿岸の診療所や役所が被災して診療の記録がないため、保健師が急ぎ調査票を作成。市内に残る家庭を個別に訪れ、高齢者らのニーズの聞き取りや療養環境、治療の緊急度の把握に努めた。

### 新たなモデルに

「停電で介護用ベッドが動かず、同じ姿勢のままでいたお年寄りが床療を起こしている」「寝たきりで食事も取れず、脱水症状になった」。調査の結果、在宅患者の厳しい現状が次々に浮き彫りに。医師と看護師がべた、一診察所が消失して環、治療の緊急度の把握に努めた。



「在宅医療が一つで可能。在宅医療が発達すれば、ヘルパーなど介護関連産業もできるし、地域復興に貢献できる。被災地医療の新たなモデルになる」  
 永井さんらは、半年後

宮城県気仙沼市で在宅患者を診察する「巡回療養支援隊」の医師(右)と看護師(左)15日

をめどに地元の医師に患者を引き継ごうと考えている。同じ宮城県内で大きな被害を受けた石巻市でも、気仙沼を参考にし